

大阪府立成城高等学校 定時制の課程学校協議会（平成 29 年度第 1 回）記録

（日時）平成 29 年 6 月 16 日（金） 16:30～18:30

（場所）大阪府立成城高等学校 多目的室

（出席者）

〔学校協議会委員〕上條藤夫、桶谷千晶、川上竜典、畑井みどり、〔欠席〕田中紹亮、渡邊一雄

〔学校関係者〕麻野准校長、雑賀教頭、川内首席、木戸教務部長、三條生活指導部長、中川教諭

（協議会記録）

- 1 准校長あいさつ
- 2 学校協議会の役割と運営について
- 3 学校協議会会長の選出 上條 藤夫 氏を委員の互選により会長に選出

## 5 協議

### ① 学校概要について

（麻野）職員数・生徒状況・学校経営方針・進路状況・特色ある取組・課題と方向性・退学・懲戒等について説明。その後学校 HP を紹介。

- ・今年度はクラス数の減により 1 年次 1 クラス、2 年次 1 クラス、3 年次 2 クラス、4 年次 1 クラスの計 5 クラス。常勤職員が 23 名となった。来年度もさらに学級減となる可能性が十分にある。
- ・生徒数は 84 名となり、今後、教育課程の見直しも課題と考えている。
- ・進路状況としては、就職をする生徒が大半だが、進学をする生徒も一定数いる。
- ・2 年次生からは「ものづくり」・「情報技術」・「生活デザイン」・「教養」の 4 系列のなかから興味のある授業を選択できる。
- ・生徒支援のための家庭訪問や電話連絡、規範意識の向上に努めている。
- ・卒業率の向上と基礎学力の定着をめざし、勉強が楽しく感じられるような魅力ある授業を進めていく。
- ・昨年度の退学者数は 12 名で、H27 年度の 21 名より減少している。昨年度の懲戒の件数は 2 件と、H27 年度の 5 件より減少している。今年度もさらに減らせるよう努力し出席率、卒業率の向上に努める。

（委員）「系列」ではどんな授業を行っているのか。また、進路はどのようになっているのか。

（三條）工作機械を使って作品をつくる授業などを行っている。進路の状況としては、工場などへ就職する生徒もいる。

（中川）文書ソフトや表計算ソフトなどの基本的ソフトから、プログラミング等の専門的な知識や技能を修得できる授業も行っている。昨年度は AO 入試を活用して、有名私立大学の情報系の学部に進学した。

（委員）HP の紹介を受けたが、家では学校の様子を話してもらえないので、HP から学校の様子を確認することができるのを知った。また、内容が充実しており、先生方の頑張りを感ずる。

（委員）クラブなどでも先生方は頑張っている生徒を支援されていると感じた。保育所との連携について、過去に紙芝居の読み聞かせをしたところ、保育所側に喜んでもらったことがあるので、ぜひ試して欲しい。紙芝居の台をものづくり系列の授業で作らせるなど、系列間の連携を試してみてもどうか。

## ② 平成 29 年度学校経営計画等について

(麻野) 中期的目標の説明

- ・魅力ある授業を推進するため、ICT 機器の活用やアクティブラーニング (A L) 授業への取組みとして iPad5 台を用意している。昨年度に引続き計画的に授業に取り入れてもらう。また整備もしていく。
- ・生徒支援に関しては、学校で先生や他の生徒と関わっていくなかで「豊かな心」と「規範意識」を身に付け、社会に巣立って行ってほしい。
- ・授業満足度、学校満足度や進路決定率などの数値が昨年度よりも高くなるように取り組んでいる。
- ・授業力の向上や若手教員の育成のために授業公開週間や研究授業を 7 月と 12 月に行い、また、大阪大学の教授とゼミの学生との研究協議も行う予定。

(委員) 昨年度の評価指数より高い数値がでるように先生みんなで一丸となって頑張っていてほしい。

## ③ 学校教育自己診断のアンケートについて

(雑賀) 昨年度の生徒・保護者の集計結果について説明

- ・昨年度のアンケートのご意見を取り入れて、生徒用の質問項目を増やした。今年度の実施に向けて内容等について何かありましたら、第 2 回学校協議会にでもご意見をいただきたい。

(木戸) 成績表をわかりやすくして欲しい、という保護者からのご意見があったので、今年度から成績表の見方の説明をつけることとした。

## ④ 教科書採択について

(雑賀) 今年度使用教科書の説明、来年度の使用教科書について現状報告。

(委員) 過去の勤務校でも教科書だけで対応できない部分については、独自のプリントにて対応している。本校ではどうか。

(川内) 教科でも工夫し穴埋めプリントを作成し、授業ごとに回収・配布など工夫している。

(木戸) 教科書についても、ただ内容が簡単なものを選ぶのではなく、図や写真などの資料が多いものを選ぶようにしている。

(委員) 教科書のみだけでは難しい内容などは、今後もプリントなどで補うなどして工夫して欲しい。

## 7 授業見学

1A「数学 I」(吉本教諭)・2年「保健体育(バレー)」(大坪教諭)

## 8 閉会 会長及び准校長からあいさつ

大阪府立成城高等学校 定時制の課程学校協議会（平成 29 年度第 2 回）記録

（日時）平成 29 年 11 月 16 日（木） 17：00～19：00

（場所）大阪府立成城高等学校 校長室

（出席者）

[学校協議会委員] 上篠藤夫、田中紹亮、桶谷千晶、川上竜典、畑井みどり [欠席] 渡邊一雄

[学校関係者] 麻野准校長、雑賀教頭、川内首席、吉本教諭、村田主査

（協議会記録）

1 准校長あいさつ

2 学校の状況報告

6 月以降の学校の様子（保育実習、体育祭、修学旅行等）を HP から説明

3 協議

① 生徒の状況について

（雑賀） 生徒の出席状況、生徒指導、進路状況についての説明

- ・ 今年度 84 名でスタートしたが、2 名が退学し 9 月末現在で 82 名が在籍している。
- ・ 出席率は昨年度から比べるとよくなっている。
- ・ 就労率は 73%、正規雇用は少ないが、ほとんどの生徒がアルバイトをしながら学校に通っている。
- ・ 定時制通信制秋季発表大会では「芸能発表の部」で 3 名の生徒が、「作品発表の部」で 2 名の生徒が賞をいただいた。またクラブ活動では、柔道部、陸上同好会、剣道同好会が近畿大会へと進み、そのうち陸上同好会、剣道同好会は全国大会の出場を果たす。

（会長） 退学の状況や懲戒の状況について。

（麻野） 1 年生の生徒と 3 年生の生徒で、どちらの生徒もアルバイトを中心に生活していたため、学校よりもアルバイトに積極的に取り組みたいために退学。また懲戒については今年度に入り 2 件のみである。

（委員） 就労率があがってきた理由として具体的にどのような取り組みを行っているのか。

（麻野） 生徒の状況に応じた働きかけを行っている。また 3 年生、4 年生に関しては NPO と連携を重ねている。このことも就労意識が高まっているように思える。

② 学校経営計画の進捗状況について

（麻野） 学校経営計画の進捗状況について説明

- ・ 「基礎的・基本的な学習の確実な定着」では外部連携や校内研修を実施するなど、教員の授業力向上に努めるとともに、教育課程教科・科目の再編成についても検討中である。
- ・ AL 授業の推進と授業での ICT 機器活用については校長マネジメント費を活用して Apple TV を購入した。ipad の画面をワイヤレスで送ることができ教壇から離れて授業できるので、それを活用し生徒と教員の対話的な授業実施に向けて取り組んでいる。

- ・ 「豊かな心と規範意識を身に付けた生徒の育成」においては、HR等で生徒達に働きかけながら授業中のスマホ指導を実施。また、校内巡回指導で生徒への声掛けなどを行い、コミュニケーションを深めるようにしている。
- ・ 今年度から校内漢字検定を実施し、受験した生徒全員が、獲得した得点により級認定されるように工夫した。

(会長) 校内漢字検定では生徒への丁寧な働きかけを感じる。様々な取組から一定の成果を得られていると感じる。

(委員) ICT機器を活用した取り組み状況については。

(川内) Apple TVを購入していただいたので、活用について校内研修を実施した。若手教員がipadを活用して積極的に取り組んでいる。

(委員) 2年前から委員をしているが、学校側からの提案が広がっていると感じる。生徒との信頼関係が深まり、また校内検定など生徒に合った取組みも大きい。さらに深めてほしい。

### ③ 第1回授業アンケート結果について

(雑賀)

- ・ 昨年度よりも生徒の肯定率があがっている。教員には個票をフィードバックし、授業の振り返りをしていただき授業づくりに取り組んでもらっている。
- ・ 体を動かしたり、物をつくったりする授業についてはアンケートの結果としていい数値であるが、座学の教科の数値が低くなっている。

(会長) 授業アンケートの結果として昨年度よりも生徒の肯定率があがっているが、具体的にどのような取り組みをされたのか。

(麻野) 昨年よりも教員側がICT活用等に慣れてきた面があるのではないかと感じる。また2年生、3年生においては教員と生徒の信頼関係が増してきたことが大きいと感じる。

(委員) 騒がしい生徒達への対応はどうされているのか。

(麻野) 授業の合間に教員が校舎を巡回したり、複数担任制をとったりして対応している。

### ④ 学校教育自己診断(案)について

(麻野)

- ・ 昨年度より項目を追加した。学校側としては経年変化を見るために今年度もこの内容で実施したい。
- ・ 昨年度の結果からは生徒、保護者の満足度は非常に高い。

(会長) 具体的にどの項目を追加されたのか。

(雑賀) 災害時の避難の状況、ICT機器の活用時の理解、産業社会と人間及び総合的な学習の時間の理解。

### ⑤ 保護者からの意見聴取について

(会長) 意見はありませんでした。

### ⑥ 行事見学(文化祭)

模擬店や展示見学及び模擬店試食、その後、感想

(委員) ・いきいきとして活気があった。 ・教員の指導や努力の跡がひしひしと伝わる。生徒も楽しそうだ。

・卒業生の状況が見れたので嬉しかった。

(麻野) 定時制でPTA活動は難しい面もあるが、PTAにも協力して出店していただいています。

4 次回の開催時期について

(会長) 2月上旬に実施します。

（日時）平成 30 年 2 月 8 日（木） 17:00～19:00

（場所）大阪府立成城高等学校 多目的教室

（出席者）

〔学校協議会委員〕上條藤夫、田中紹亮、桶谷千晶、渡邊一雄、川上竜典 〔欠席〕畑井みどり

〔学校関係者〕麻野准校長、雑賀教頭、川内首席、清田進路指導主事、三條生活指導部長、広田教諭、  
村田主査

（協議会記録）

### 1 准校長あいさつ

### 2 学校の状況報告

11 月以降の学校の様子（文化祭、部活動発表、修学旅行等）をまとめた DVD を上映説明

### 3 協議

#### ① 第 2 回授業アンケート結果について

（雑賀）第 2 回授業アンケート結果について説明

- ・各質問項目において、肯定的な意見が多く数値が全体的に高くなっている。
- ・実技を伴う教科に生徒が関心を持っている。
- ・教室内の規律指導にばらつきが見られるようなので、教員間で再確認する必要がある。

（会長）今年度は全ての質問項目で数値が上がっている。ここ数年間で初めてのこと。

教員が熱心に授業改善を行っているのがわかる。

（委員）うるさい生徒にしっかり注意してほしいという生徒の声は以前のアンケートにもあったが、改善のためにどういう取り組みをしているのか。また、その結果うまくいかなかったことはあるか。

（雑賀）校内巡視をして廊下からも注意をしているが、教員の姿が見えなくなるとまた騒がしくなることもある。生徒によっては強く注意しすぎると登校しなくなる場合もあるので、注意の仕方を見極めないとならず、難しいこともある。

（委員）選択科目が思っていた授業と違ったという声についてはどう考えるか。

（麻野）受講した生徒の特性によって授業内容や進度を変更している場合もあるが、まず選択説明会等でシラバスに則って生徒に授業内容を丁寧に説明していく。

#### ② 学校教育自己診断について

（雑賀）平成 29 年度学校教育自己診断結果について説明

- ・生徒の学校満足度は全体的に高い数値となっている。
- ・アルバイトなどをしていない生徒が増えているので、就労支援も継続的にしていかなければならない。
- ・保護者の回答数は増えており、学校に興味を持っていただいている。

・保護者の学校満足度は高くなっているが、学校行事への参加が低い。保護者が来校しやすい時間や日程にするなどの工夫が必要。

(委員) 生徒と保護者の両方の項目で数値が上がっている。教員診断では 2 項目（進路・生徒支援）で数値が少し下がっている。もう一度、両方を意識し確認する必要がある。

(麻野) この結果を受けて、成城定みらいプロジェクトという企画を始動した。学校をよりよくするために、若手教員を中心に改善点やその方法について話し合いを進めている。

### ③ 平成 29 年度学校経営計画の評価について

(麻野) 平成 29 年度学校経営計画及び学校評価について説明

・各教員の授業改善や教員同士の連携、そして生徒との信頼関係の構築により、概ね計画通りに進んでいる。

(会長) 停学者 2 名、退学者 5 名にとどまっているというのは、定時制ではあまりないこと。教員の指導の成果であると考えられる。

(委員) ICT 活用や校内漢字検定などで生徒の興味関心を引いている。いい意味でおとなしい生徒が多いと感じる。生徒が安定すると物事に興味を持つようになるので、そこを引き出す必要がある。

(委員) 企業訪問は 27 社とあるが、企業訪問は毎年行っているのか。また、何社ほどか。

(清田) 毎年企業訪問は行っている。前年度は 29～30 社訪問した。卒業生が就職した会社も訪問している。

(委員) ICT を活用するなどして生徒にやることを与えると、携帯をさわったりする生徒が減り、今回の授業満足度での高い数値につながったのではないか。

(委員) 定時制の授業の様子など HP 上の動画で詳しく見ることができたら、これから進学先を考える中学生の保護者なども安心するのではないか。

### ④ 平成 30 年度学校経営計画(案)について

(麻野) 『平成 30 年度学校経営計画及び学校評価』(案)について説明

- ・学力の定着については、学力の 3 要素の定義をもとに文言を新たに追記したが、ほぼ変更はない。
- ・生徒指導においては、キャリアカウンセリング力を上げることを追記した。
- ・学校づくりの項目においては、教員の生徒との会話力をより高める研修等を推進することを追記した。

(委員) 重点目標「進路指導体制の構築」の評価指標に、先生方の企業訪問数も取り入れたらどうか。

(麻野) その方向で検討する。

### ⑤ 校則等の点検・見直しについて

(麻野) 校則等の点検・見直しについて説明

・本校の特別指導の方法について、見直す必要がある箇所があれば見直しを進めていく。委員の皆様のご意見をお願いしたい。

(委員) 特に意見は無い。

(麻野) 特別指導については、今後も『生徒の気付きのための指導』を基本に取り組んでいく。

#### ⑥ 学校運営協議会について

(麻野) 学校運営協議会について説明

- ・平成 30 年度から、全府立学校に学校運営協議会を設置することになった。
- ・学校協議会との大きな違いは、その役割である。従来の「校長に対して意見を述べる」に加えて、  
『基本  
的な方針』の承認」、「職員の任用に関して意見を述べる」の 2 点が追加される。
- ・また、構成員に「学校の運営に資する活動を行う者」が追加される。

#### 4 その他

平成 29 年度進路状況について (2018 年 1 月末現在)

(清田) 進路状況について説明

- ・1 年生のうちからキャリア教育を行っている。卒業学年になると 4 月から細かくキャリア指導を行う。